会社役員育成機構(BDTI)

2022年度活動報告・ 2023年度活動予定

2022年 3 月31日

BDTI

公益社団法人
会社役員育成機構

はじめに

2022年度後半はコロナも落ち着き、研修もzoom形式から従来の対面形式に戻っています。今年度のBDTIオープン研修女性参加率は**55%**でした（2021年度は32%）。これはBDTIの支援者が2022年度に女性を対象に奨学金を提供して下さった為であり、大変感謝しております。BDTIの使命である日本社会にガバナンスの知識を普及させるため、そしてその一環として女性管理職の活躍を推進するため、2023年度も50%という高い水準を維持していきたいと考えております。
経済産業省の調査によると、『役員研修に取り組んでいる 』上場企業はわずか20％です。また、当法人ベネシュ代表理事は、「スチュワードシップ・コードが機能すること」を目的の一つとして、ガバナンス・コードを提唱したのですが、残念ながら、今のところ新しい開示データは十分に分析・活用されていない状態です。BDTIはこれらの課題に引き続き積極的に取り組み、日本経済発展のために貢献して参りたいと思っております。研修の質と幅を広げていくためには、研修の設計や実施費用、講師の登壇代、販管費などの資金が必要となります。2023年度も皆さまの温かいご支援をどうぞお願いいたします。

2022年度の活動報告

活動項目	内容
研修関連	361名がBDTIの役員研修を受講。オープン参加型研修**女性受講率55%**達成。 • オープン参加型研修／3コース（25回） • 企業研修（8回） • セミナー(7回)　セミナー終了後 BDTI YouTubeチャンネルで公開中 • e-ラーニングは少なくとも2,000人が受講（またはアクセス） • 1/19に研修参加者を集めて初の意見交換会をZoomで実施
啓蒙活動	代表理事が「ESG情報開示研究会」を含む7つのグループで講演を行いました。（ESG情報開示研究会には機械可読性を高める方法を具体的に提案）
データ・コンサルティング活動	36社に対して開示データを提供し、またはコンサルティングを実施 • GoToData Dashboard サービスを販売（簡単なデモはこちら） • 大手アセットマネジャーおよびクオンツファンドなどの機関投資家に、BDTIの詳細な時系列データベースへのアクセス権を付与 • 政策保有株・政策保有株主のリストを追加。年度末には役員データをデータベースに追加する予定 • 「CGとパフォーマンス」に関する大規模な分析プロジェクトを２つ、主要な学者と共同で開始。1つはワーキングペーパーの段階。もう一つは、テキスト解析の有用性を検証するもの
その他	• 業務量の増加に伴い、インターンを採用 • ウェブサイト、SEO、SNSマーケティングの充実化

2023年度の活動予定

活動項目	内容	スケジュール
研修関連	• オープン参加型プログラムへの女性参加率を50％以上に維持するために今年度も『BDTI女性役員研修奨学金制度2023』始動。 • オープン参加型研修は引き続き1カ月に2回のペースで開催。	2023年4月1日 ファンディング次第
	• 1日役員研修4つ目のコース『ロールプレイ役員研修』を開講。実際に起きた事件をモチーフに設計した、４つのケーススタディに基づき参加者がロールプレイをする研修。講師はニコラス・ベネシュと市川佐知子。	第１回は 2023年4月24日 決定
	• 財務分析と財務諸表の読み方に特化した、6週間の集中ファイナンスコースを設計中。	ファンディング次第
データ・ コンサルティング活動	• 全上場企業の新しい独自のデータフィールドを追加し続ける。現在、役員報酬データの正規化に力を入れている。 • 少なくとも４つの学術論文を完成させ出版を目指す。	継続
その他	• 知名度向上ため、そして女性のネットワークを広げるためにSNSを通して活動を周知していく。 • 役員バンクの利便性を改善（承認企業のため） • 過去の受講生と企業／人材紹介会社とのイベント開催	一部は ファンディング次第

BDTIのオープン研修（1）

BDTIのオープン研修は一般￥85,000(税込)、会員￥59,500(税込)と低価格で受講できます。※Boot Campは一般￥75,000(税込)、会員￥52,500(税込)

「ガバナンス塾」（ベーシック・コース）

「会社とは何ぞ」をはじめ、CGの理論・運営上の最重要課題、取締役の責務や持つべき視点、取締役会に関わる会社法・役員会の実践、財務諸表の読み方や金商法で構成。

- ✓ CGC【原則4-14】原則の遵守の第一歩として最適
- ✓ 取締役・監査役となる方に、より実効的に活躍いただくための必要な基本的知識が満載
- ✓ CGC提唱者であるニコラス・ベネシュを初め、各分野の専門家から直接学べる取締役・執行役員研修
- ✓ 実例を参考にしたケーススタディが豊富
- ✓ 少人数制で活気あるディスカッション
- ✓ eラーニングコース「会社法」「金商法」「コーポレート・ガバナンス(基礎・実践編2コース)」の6ヶ月使用権が付与。どこでも学習が可能

「Director Boot Camp」

英語で開催されるベーシック・コース。

日本企業の取締役会について必要な法的およびCGのベストプラクティスを中心に講義およびディスカッション形式で開催

研修受講者はBDTIの役員バンクに登録可能となります。役員バンクは役員候補者を探している事業法人や人材紹介会社と役員研修「卒業生」を結びつけるスキルベースのプラットフォームです。
登録することによって他社の取締役会又は幹部として活躍する機会を広げることができます。

他社と本気度が違う！

「社外取塾」（アドバンスド・コース）

「社外取塾」は社外取締役の姿勢・行動・発言に特化する 対話型、「上級」コース。

- ✓ 社外取締役として豊富な経験を積んだ、しかもダイバーシティを反映した複数の方から、忌憚のない、本音ベースのアドバイスがもらえます
- ✓ 事前配布される寄稿者や専門家からの詳しいアドバイスを予習し、ブレイクアウトセッションを交えて講師二人や他の参加者とディスカッションを行います
- ✓ 研修当日には取締役としての行動・発言を考え、ガバナンスのあるべき姿も見渡せます
- ✓ 少人数制で活気あるディスカッション形式の研修

NEW「ロールプレイ」役員研修

BDTIが実際に起きた事件をモチーフに設計した、詳細なケーススタディに基づき参加者がロールプレイをするコース。

- ✓ 割り振られたロールになり切り、生のディスカッションを実践
- ✓ どのロールになるのか、当日まで分かりません。このロールならこれが気になる、別のロールなら別の思考回路が必要になるなど、立場を変えて考える力が付きます。
- ✓ ロールプレイが終わったら、ロールを離れ、参加者ご自身の立場に戻って、おきた議論を客観的に師とともに分析・評価します

BDTIのオープン研修（2）

「e-ラーニング」
「会社法」「金商法」「コーポレート・ガバナンス（基礎・実践編の2コース）」

会社法、コーポレートガバナンス、内部統制、金商法などの基礎知識をわかり易く解説。

- ✓ CG提唱者や各専門家が監修
- ✓ 学びたい科目を選んで受講可能。タブレット端末でも利用可。電車など通勤中でも学習可能
- ✓ 【高いコスパ】4コース/10時間の充実した内容を低価格で提供
- ✓ 企業・ファンド向けの「人数無制限パッケージ」は定額制で受け放題。メガバンクも研修で活用中
- ✓ 企業はユーザーの進捗度合が確認可能

＜デモはこちらの絵をクリック＞

各コース	無制限パッケージ
￥12,000/年（税込） 4 コースまとめて購入 ￥40,000/年（税込）	￥300,000/年（税込）

賛助会員は3割引適用、更にお得！

新しい研修プログラム構想（検討中）
財務に不慣れな取締役・執行役員向けのファイナンス研修

財務諸表の読み方と財務分析に特化した、6週間の集中ファイナンスコースです。

BS・P&L・CF計算書、運転資本、CCC、投下資本、資本コスト、各財務比率等の計算方法・使い方を教え、財務諸表と財務分析を見る「勘所」を育てるよう設計を試みています。株価は何によって決まるのか、資本政策のトレードオフ、企業価値・買収先・事業部の価値評価方法、新規事業や既存事業からの撤退にあたっての考え方、アクティビストからのアプローチに対応する分析力を磨きます。

自社や競合他社を分析するなど、財務三表と株価評価の理解を深め、受講者に合った実例を使って実施します。

GoToDataの日本企業開示ブラウザー&ダッシュボード

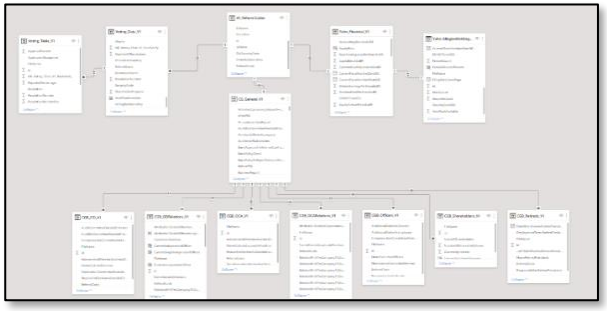
- **独自開発の「QuickFind」ツール**により、「有報」「CG報告書」「議決権行使報告書」の全データ・テキストに簡単・迅速にアクセスでき、全テキストをGoogle翻訳で機械翻訳できます。
- **マーケットレポートと企業サマリー:** 最重要データを時系列でビジュアルに提供するインタラクティブ機能。テーブルやビジュアルが反映するデータは、個々の企業データを含めてダウンロードすることができます。
- **追加ツール：** ユーザーが設定する基準でフィルタリングされた企業を素早く発見できるスクリーニングツール。企業の政策保有株および政策保有株主の両方を細かく表示する機能、取締役・監査役のオーバーボーディング状況や過去の経験、株式保有、年齢などを確認できる「役員データベース」など。

デモ版をお試しください！
https://gotodata.jp/demo/

GoToDataのインタラクティブダッシュボード

GoToData
ダイレクトデータベース接続サービスその他

- **GoToDataの長期時系列データベース全体へのアクセス。**数分ごとに更新され、三つの基本報告書の最新の企業提出・改訂を反映。
- **BDTIの標準化・構造化されたデータに加え、「開示されたそのまま」のテキスト**を含む開示データを直接自由にアクセスでき、バックテストおよびモデリングとAI分析手法の両方を容易にします。
- 投資・データ活用戦略を強化するため、全上場企業の**独自データ項目**をめる。世界最大級の資産運用会社やクオンツファンドが利用中。



GoToDataの関係性データベース

- **カスタムプロジェクトや追加サービス**も可能。以下は一部の例にすぎません。
  - GoToDataの膨大なデータベースと長年のCGの経験を生かした企業の**詳細なレポート作成。**
  - お客様のニーズに合わせた**カスタムレポート/データ収集/分析。**
  - **全取締役および役員の正規化されたデータベース**により、取締役候補探索、社外取締役のオーバーボーディングの度合いの特定。また、中長期的に取締役会構成が与える影響が分析可能。
  - **開示されたすべての政策保有株のマッピング**により、株式持合を紐解いて、分析することが可能。

BDTI's First Working Paper: **Using High-Dimensional Corporate Governance Variables to Predict Firm Performance**

Abstract

The purpose of this paper is to empirically identify correlations between firms' corporate governance and their future performance. Applying LASSO estimation technique to a large number of corporate governance-related variables and firms' total shareholder returns (TSR) as well as other performance measures of those firms over multiple prediction windows for listed firms in Japan, we find the following empirical patterns. First, a number of corporate governance policies or attributes that relate mainly to external monitoring -- such as shareholder concentration, CEO approval rates, disclosure of individual director compensation, and the existence of large or controlling shareholders -- have positive correlations with future TSR as expected. Second, only a few variables associated mainly with internal monitoring and incentive mechanisms, such as stock options offered to employees, the percentage of outside corporate (statutory) auditors on the board, and the total number of corporate (statutory) auditors show correlations with future TSR. Third, such unconditional associations between specific corporate governance practices (e.g., internal monitoring) and TSR are affected by certain other governance mechanisms (e.g., external monitoring).

Authors

Daisuke Miyakawa (Professor, Hitotsubashi University Business School)
Junichi Yamanoi (Associate Professor, School of Commerce, Waseda University)
Non-Academic Authors: Nicholas Benes (Representative Director, BDTI)
Ben Garton (Head of Research, BDTI)

BDTI's Second Working Paper: **Quantitative Implication of Corporate Governance on Firm Performance**

Abstract

The purpose of this paper is to quantify the impacts of firms' corporate governance on their total shareholder returns (TSR). First, as a companion paper to Benes et al. (2023), we confirm that the sign of the coefficients associated with the corporate governance variables obtained through LASSO estimation are consistent with that of OLS estimation using the chosen variables by LASSO. Second, using bootstrapping experiments, we also confirm that the sign and the size of the coefficients are fairly stable over randomly chosen sets of subsamples. Third, we construct a prediction model of firms' TSR and use it to show that the investment strategy based on the model prediction could generate marginal but non-negligible returns. These results suggest that high-dimensional corporate governance variables contain informative signals associated with future firm performance.

Authors

Daisuke Miyakawa (Professor, Hitotsubashi University Business School)
Junichi Yamanoi (Associate Professor, School of Commerce, Waseda University)
Non-Academic Authors: Nicholas Benes (Representative Director, BDTI)
Ben Garton (Head of Research, BDTI)

A Third Working Paper now in process at a well-known Japanese academic institution uses **text analysis to differentiate "entrenched" firms from other types of firms**, and explores how performance varies. Another academic researcher is using BDTI's data to explore the impact of "allegiant shareholdings" on firm performance. BDTI will also be conducting its own independent analysis during FY2023.

『BDTI女性役員研修奨学金制度2023』へのスポンサー参加のお願い

目的：有望な女性役員候補にBDTI研修を受けるための奨学金を提供いただけませんか。BDTI研修は、コーポレートガバナンスの知識を早めに習得する機会となり、将来の役員人材を確保するうえで、企業にとっても機関投資家にとっても有益です。受講生参加型の研修は、各界で活躍する優秀な女性が集まって視野・ネットワークを広げるのに最適であり、企業に多様な見方をもたらす人材育成に役立ちます。キャリアアップやダイバーシティ向上プログラムの一環として役立ててください。

奨学金応募開始日：2023年4月3日(月)開始。定員になり次第終了。奨学生の決定はスポンサー企業が行います。

スポンサーの種類	スポンサーの内容
ゴールド スポンサー	2023年度中に開催される４つの**オープンプログラム**に応募した**女性12名分**の受講料（上限102万円）を奨学金として負担することをお約束いただきます。内６名分（上限51万円）は、スポンサー自身のネットワークから応募者を募ることが可能です。奨学金制度を利用し、貴社や投資先企業の女性に役員研修を受講する機会としてお役立てください。また、ゴールド・スポンサーには公益法人としての活動を支えていただくため、「継続的寄付者」として30万円以上の寄付金もぜひお願いいたします。
シルバー スポンサー	①2023年度中に開催される４つの**オープンプログラム**に応募した**女性6名分**の受講料（上限51万円）を奨学金として負担することをお約束いただきます。内4名分（上限34万円）は、スポンサー自身のネットワークから応募者を募ることが可能です。奨学金制度を利用し、貴社や投資先企業の女性に役員研修を受講する機会としてお役立てください。また、シルバー・スポンサーには公益法人としての活動を支えていただくため、「継続的寄付者」として30万円以上の寄付金もぜひお願いいたします。 **OR** ②**e-ラーニング**に応募した**女性12名分**の受講料（上限48万円）を奨学金として負担することをお約束いただきます。内8名分（上限32万円）は、スポンサー自身のネットワークから応募者を募ることが可能です。奨学金制度を利用し、貴社や投資先企業の女性にe-ラーニングの役員研修を受講する機会としてお役立てください。また、シルバー・スポンサーには公益法人としての活動を支えていただくため、「継続的寄付者」として30万円以上の寄付金もぜひお願いいたします。

BDTI

The Board Director
Training Institute of Japan

公益社団法人会社役員育成機構

こちらを
クリック

BDTIの
ウェブサイト

Facebook

Twitter

YouTube